

広報 UNOYAMA

第 67 号

発行所 黒埼町役場
印刷所 共立印刷(株)

新春のごあいさつ

町長 森 精太郎



町民の皆様、あけましておめでと
うございます。

輝やかしい、新春をむかえるに当
り町民各位の、ご清福とご繁栄を
心からお祈り申し上げます。

今年も昨年に引続いて、きびしい
年になることが予想されています
皆様と共に、全力を傾注して成果
の多い年にしたいと祈念しており
ます。

昨年は例年になく、経済の混乱
が著しく、公共事業の抑制、事業
の繰延、総需要の抑制等が相次い
で行われましたが、本町において
は早期に計画的に各種の事業を施
行し、また懸案の独立県立高等学
校誘致も住民総ぐるみの誘致運動



新年のごあいさついたします。

〈町の動き〉

49年11月末現在	(増減)
人口	18,341 (+34)
男女	8,985 (+26)
9,356 (+8)	
世帯数	4,378 (+)
11月1日～末日	まで
死亡	8
出生	40
死出	40
婚姻	47



明けてもう
おめでとうございます。

今年も又皆様
方と手を取り
合せて町政の
発展と住民福
祉の向上に精
一努力を傾けたいと決意を新た
にしております。

振り返って昨年は石油危機に端
を発した物価の狂乱の上昇は先
づ地方財政危機を生じ公共料金を
はじめ諸物価の値上りは平和な金
民生活に大きな不安を与え国・地
方自治体とも、どのように対処す
るか大きな問題をか、えて新年
を迎えました。

あれから一年物価沈静のために
とられた国の施策はこれとして決
め手にならず遂に総需要抑制で公
共事業の繰延べ等により各種企業
特に中小の商工業、個人企業に
まで重大な影響をもたらし、豊で

年頭へ寄せて

議会議長 江端修吾

様と共にご同慶にたえません。

又住民の念願であった黒埼高校
の開校も町民の熱意と県当局の温
かいご理解で五〇年四月開校の運
びになりましたこともひとしお嬉
しいことでありました。

更にまた本町が高速交通体系の
中において、しかも都市化の現象
の急速なる進展により住民の要望
が生活優先福祉充実の心持にとら
え開発か福祉かの選択に迷うこと
なく生活優先の生活道路の整備、
立石小学校の開校、寺地保育所の
着工、児童遊園地の着想等成果を
挙げつつあることも承知のとうり
であります。

あった個人生活にも重苦しさをみ
せてきた昨今であります。
したがって以前のような高度な
経済成長は望むべくもなく深刻な
不況時代への幕明けであるかのよ
うな年であることを覚悟しなけれ
ばならぬと思われま。

高速度交通体系の中にある変ぼう
するであろう将来の計画の長期構
想は議会でも議決をしておりますが
新しい町造りに忘れてならないの
はそれに対応する施策として生き
ることに苦慮してある農業、商工
業の位置づけであり緑と空間のない
田園都市づくりと不公平のない住
民サービス及び老人、低所得者の
いわゆる弱者対策であると思いま
す。

余儀無くされる年であると思いま
す。
このような情勢下にあつては私
達の生活様式も消費は美德なりと
いう態様に訣別し、堅実な生活を
余儀無くされる年であると思いま
す。

そして又町造りを着実に進める
には先づ住民意識の連帯性とコミ
ュニケーションづくりが大切であ
ると思ひます。特に情報化時代
においては住民意識と価値観の多様
化により大きな仕事ほど個人の主
張がぶつかりあうからである。
私共議会の議員はこのような時



期において住
民の行政に対
する需要を適
格にのう上に反
町政のうに反
映せしめる責
務を忘れるこ
となく議論を
尽し微力を合せ一八、〇〇〇人
主権者の意志を代表して暮し心も
も財政的にも豊かな町造りに今年
も又頑張りますから皆様のご理解
とご協力を心からお祈り申し上げま
す。

年頭にあたり皆様のご健勝とご
多幸を心からお祈り申し上げます。

職安の求人

求職が電話で
わかりますよ

ダイヤル(4)一一二番